



# 平成14年度決算

## 一般会計などを満場一致で認定

9月定例会

平成15年第3回定例会は、9月2日に開会し、平成14年度一般会計をはじめ、各特別会計、上水道・病院事業会計の決算認定議案が提案され、13名の委員で構成する決算特別委員会が審査したのち、満場一致で認定しました。このほか、有功者の表彰や公平委員会委員の選任、人権擁護委員候補者推薦について同意しました。

### 各会計の決算

#### 特別委員会でも審査

平成14年度決算認定を審査するため、9月2日に設置された決算特別委員会では、大綱説明を受けた後、関係書類の閲覧を経て10日から3日間審査を行いました。

#### 委員長報告（要旨）

長引く景気低迷で、市税収入は対前年度比マイナス2・2%となるなど、歳入

の確保は非常に困難な状況が続いており、今後も引き続き厳しい環境が続くものと思われる。

#### 委員会での意見・要望

効率的な行政システムを目指した行政改革に積極的に取り組むことなどを評価し、満場一致で認定した。なお、委員会の審査過程で主として次のような意見、要望があった。

下校時にも配慮した対策を。

▽市民サービスを下させず、NPO等の活用で市民との協働のまちづくりや効率的運営に努力を。

▽今後の行政運営にあたっては、地方分権時代に沿った効率的な行政システムを構築し、なお一層の行政改革を。

▽上水道事業においては、これからもより一層の経営効率化と安全で良質な水の安定供給に努力を。

▽病院事業においては、今後も健全な経営と良質な効率的な医療を提供し、信頼できる医療体制の確立に努力を。

▽財政健全化にあたっては、まちづくり・さいせい岸

### 決算特別委員

- ◎井上源次
- ◎岡林憲二
- ◎鳥居宏徳
- ◎西村芳一
- ◎岡本冠一
- ◎岸田利彦
- ◎梶川千代
- ◎今田昌子
- ◎西田千代
- ◎小寺和峰
- ◎小川和峰
- ◎小野和峰
- ◎村野和峰

◎委員長  
◎副委員長

和田委員会など、市民とともに考える姿勢を。▽行政の仕事のコスト論だけで判断することなく、市民への公的責任を。安全なまちづくりのため、職員一人ひとりが財政健全化への方策を緩めることなく一層努力を。

### 意見書を可決

#### 道路整備の推進に関する意見書

議員提案により可決し、国会や内閣総理大臣、関係する各大臣に提出した意見書は次のとおりです。（要旨）道路は、市民生活や経済・社会活動を支える最も基本的な社会資本で、その整備は、市民が長年にわたり熱望しているところであり、道路整備の重要性は一層高まっている。

よって、本市議会は、政府に対し、道路整備の重要性を深く認識され、次の措置を講じられるよう強く要望する。

1. 都市の再生や地域の活性化に資する道路整備を推進するため、必要となる財源の確保と都市部への重点的な配分に努めること。
2. 都市の再生や活力ある地域づくりを推進するため、環状道路の整備や踏切道の改良などの渋滞対策等の推進、地域間の連携促進を図る道路整備を一層推進すること。
3. 沿道の大気汚染や騒音、地球温暖化問題に対応するため、道路環境対策を一層充実すること。
4. バリアフリー、交通安全対策、防災対策など安全で快適な生活環境づくりを推進するための道路整備を一層促進すること。

#### 「金融アセスメント法」の制定を求める意見書

長引く景気低迷は、中小企業の集積地である大阪を直撃し、また、不良債権の最終処理によって、金融機関による中小企業への貸し出し抑制がますます強まっています。

このような中、地域や中小企業への円滑な資金供給に努力している金融機関を公正に評価するため、「地域と中小企業の金融環境を活性化させる法律（金融アセスメント法）」の制定は、新しい金融システムの構築に向けた「制度的インフラ」として機能し、地域経済の活性化に結びつくものとして期待されている。

よって、本市議会は、政府に対し、中小金融機関の金融上の支障を解消し、中小企業と地域経済を活性化させるために、「金融アセスメント法」を制定するよう強く要望する。



実りの秋（三田町付近）

### 市民の皆様へ

市議会議員団は、選挙区内における葬儀に際し、平成15年9月1日より弔電の送付と香典などの金品の提供について、親族を除き一切行わないよう申し合わせております。市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。